

## &lt; 竹ヶ島海中公園自然再生全体構想の概要 &gt;

## 1 自然再生の対象となる地域

右図に示す赤線の範囲である、海域公園を囲む周辺の海域と、海部川、穴喰川、および野根川の3水系の河川流域とその周辺地域を対象範囲とする。

なお、海域公園地区（9.9ヘクタール）をもっとも重要な対象区域とする。

## 2 自然再生の目標

エダミドリイシが健全な状態で生き続けていける豊かな沿岸生態系の回復を目標とする。

また、沿岸域のみならず、「やま・かわ・うみ」のつながりを認識し、住民自らが自然再生の維持と管理に取り組むことも重要である。

これらから、自然再生の目標を達成するために、次の3つの個別目標を設定する。

- 「豊かな沿岸生態系の回復」
- 「健全な水循環の再生」
- 「元気な地域社会づくり」

## 3 基本方針

さらに、上記個別目標を達成するため、次の5つを基本方針として、自然再生事業を展開する。

- エダミドリイシの特性把握
- 海域公園周辺の環境改善
- 陸域からの環境負荷の軽減
- 地域の多様な主体の参加と連携による取り組み（協働）
- 海域公園と共生する地域漁業の活性化

## 4 竹ヶ島海中公園自然再生協議会構成員（合計54名）

個人（専門家を含む）23、団体19、関係地方公共団体10、関係行政機関2

